



つながる・ささえる・つくりだす

在宅現場の地域包括ケア

秋山正子＝著

本体 2000 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5600

本誌連載からの書籍化！「これからの地域包括ケアで大事なものは、本人が暮らし続けたいと希望する居場所としての『住まい』に戻って来られる地域にすることだと考えています」（本文より）。訪問看護師であり、地域包括ケアの先駆者として知られる著者の語りは、具体的な提案に満ち、現場の実践者を力強く後押しする。「地域で暮らしたいと希望する人を最期まで」という著者の強い願いが織り込まれた一冊。

戦争と看護婦

川嶋みどり/河原由佳里/山崎裕二/吉川龍子＝著

本体 2200 円＋税

国書刊行会 ☎ 03-5970-7421



「先の戦争で失われてしまった赤十字という人道のルールとしての実効性と信頼を取り戻すこと、それは現代の私たちにとって課題であり続けているのです」（本文より）。その使命のもとに、赤十字救護班の活動の史料と多くの聞き書きから、日本の看護師は戦争とどうかわつてきたのか、その真の姿に迫る研究成果がここに結実した。平和と看護を深く考えることができる。

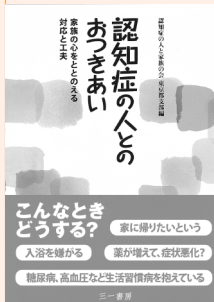
認知症の人のおつきあい

家族の心をととのえる対応と工夫

認知症の人と家族の会東京都支部＝編

本体 1500 円＋税

三一書房 ☎ 03-6268-9714



「認知症の人と家族の会」に寄せられた、認知症をもった人の日常に起こりがちな事柄について、「こんなときどうする？」のかたちで取り上げ、介護経験者が培ってきた知恵や工夫を紹介。カウンセラーや医師のアドバイスにより、認知症を正しく理解し、介護する側の気持ちが少しだけでも楽になるようにとの願いが込められている。

週末介護

岸本葉子＝著

本体 1500 円＋税

晶文社 ☎ 03-3518-4940



高齢の父を介護し、見送るまでの日々を柔らかに綴ったエッセイ集。きょうだいでも一週間のローテーションを組み、著者が担当したのが「週末」だった。介護する日常でどのようなことに困り、癒され、何を考えてきたのか。現代的な家族介護のあり様も垣間見ることができ、在宅ケアを支援する専門職にとっても学び深い内容だ。

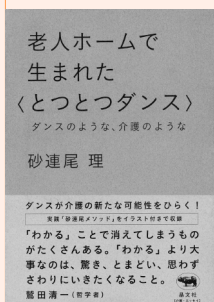
老人ホームで生まれた<とつとつダンス>

ダンスのような、介護のような

砂連尾理＝著

本体 1700 円＋税

晶文社 ☎ 03-3518-4940



京都府舞鶴の特別養護老人ホームで始まった「とつとつダンス」。気鋭のダンサーである著者がともに踊るのは、障がいや認知症をもつ人々だ。「コミュニケーションを安易にできないからこそ生まれてくる身体的なかかわりについていうのがとても豊かだなんて感じる」（本文より）。認知症・障がいをもつ人々との関係をとらえ直す糸口が、この本にある。